◆2023年6月の新刊　日本キリスト教団出版局

わたしが「カルト」に？

ゆがんだ支配はすぐそばに

齋藤 篤（さいとう あつし） 著　日本基督教団仙台宮城野教会牧師。同教団カルト問題連絡会世話人。キリスト教異端・カルト情報サイト「異端・カルト 110 番」共同代表。元エホバの証人1世。

竹迫 之（たけさこ いたる） 著　日本基督教団白河教会牧師。同教団カルト問題連絡会世話人。日本脱カルト協会理事。カルト脱会者のアフターケア施設「いのちの家 LETS」顧問。元旧統一協会1世。

川島堅二（かわしまけんじ） 監修　東北学院大学文学部総合人文学科教授。専門は近代キリスト教思想の研究、カルト、宗教被害の研究・調査。日本脱カルト協会顧問。

カルト脱会者で、現在はカルト被害者支援に携わる2名の牧師がカルト問題の現状、カルトの基礎知識、被害防止の対策などを丁寧に指南。誰もがカルト化する可能性があることを知ることが、カルトへの最大の防御になると訴える。

四六判・並製・136頁・定価1,650円（本体1,500円＋税）

ISBN978-4-8184-1134-0　C0036

2023年 6月23日 刊行予定

本書を推薦します。

鈴木エイト
（ジャーナリスト・作家）

目次

プロローグ この本を書くまでのわたしの半生記
牧師の仕事の原動力はカルト体験……齋藤 篤
カルト脱会者のわたしがカルト被害者支援をするワケ
……竹迫 之

第Ⅰ部 カルト問題の「今」
第1章 まだ終わっていなかった「旧統一協会問題」
第2章 あらたに浮上したカルト問題

第Ⅱ部 「カルト」とは何か
第1章 あらためて「カルト」とは何か？
第2章 誤解されやすい「カルト」
第3章 カルトと「マインド・コントロール」

第Ⅲ部 カルト被害防止のために
第1章 カルトは対岸の火事ではない
第2章 あらゆるカルトに向き合うということ
第3章 これからの課題